

旭中央病院の脳卒中治療の現状と 国保データベースを利用した臨床研究の可能性について

前回の抄読会で旭市、銚子市の平均寿命が短いことを紹介した。寿命が短い原因として、塩分の過剰摂取により脳卒中、心疾患が増加している可能性が考えられた。そこで、旭中央病院のデータを用いて、死亡症例および脳卒中症例の臨床経過を検討する。また、当地域の臨床研究の方法として、国保データベースを利用した臨床研究についても検討する。